

細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

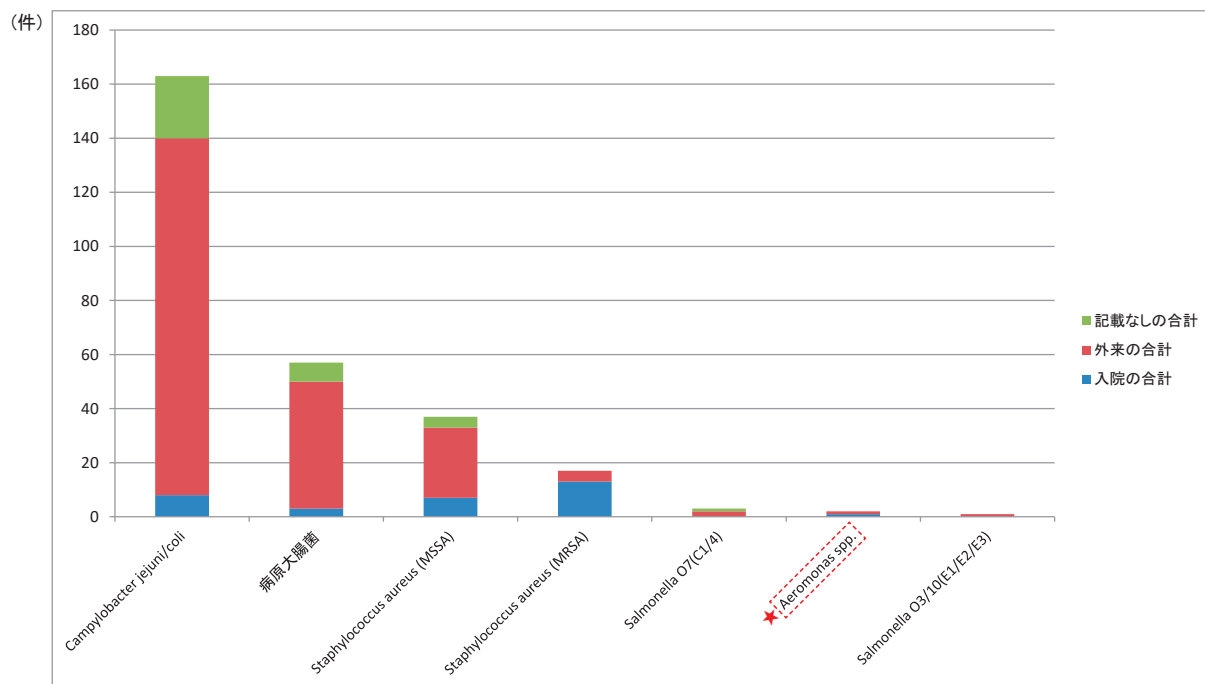


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、糞便の細菌検出状況と、薬剤耐性菌分離状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【糞便】細菌検出状況 2021年03月



2021年3月の糞便からの細菌検出状況では *Aeromonas spp.* が2件検出されています。*Aeromonas* は淡水域（河川、湖沼）及びその周辺の土壌や魚介類などに広く分布し、飲料水や淡水魚を介してヒトに感染します。*A. hydrophila*、*A. veronii biovar. sobria* はヒトに下痢症や細菌性食中毒を起こす原因菌とされています。

また、腸管外感染症としては軟部組織感染症、髄膜炎、敗血症などがあり、壊死性軟部感染症は重篤になる場合もある為、注意が必要です。

【薬剤耐性菌分離状況】

2021年3月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数	耐性率(%)	耐性菌 件数
ESBL(基質特異性拡張型 β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	45%	18	11%	8	30%	125	39%	11	42%	10
	Klebsiella pneumoniae	14%	9	0%	0	16%	12	0%	0	0%	0
	Proteus mirabilis	54%	7	0%	0	42%	8	0%	0	60%	6
	Klebsiella oxytoca	0%	0	0%	0	0%	0	—	0	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	3%	1
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	7%	2
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	—	0	—	0	—	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ※1		58%	137	33%	19	52%	23	54%	14	35%	95
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	—	0	—	0	—	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	4%	1
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		7%	12	—	0	0%	0	—	0	6%	1
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		9%	15	—	0	0%	0	—	0	6%	1
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラ ブラン酸耐性 H.influenzae)		0%	0	—	0	0%	0	—	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別検出菌件数) × 100

耐性率が「—」で表示されているものは、材料別検出菌の検出がないものです

※1 耐性率 = (材料別 MRSA 件数) ÷ (材料別黄色ブドウ球菌件数) × 100

2021年3月にVRE(バンコマイシン耐性腸球菌)がその他の材料から1件検出されています。VREとは、バンコマイシンに対して耐性を示す腸球菌です。主に悪性疾患などの基礎疾患を持つ患者において、日和見感染症や術後感染症、カテーテル性敗血症などを引き起こします。

VREはプラスミドを介し、菌から菌へ伝達される可能性がある為、院内感染対策上重要となります。また、感染症法の五類感染症に指定されている為、無菌材料から検出された場合や無菌材料以外の検体でも感染症の起炎菌と判定された場合は届け出が必要です。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係